

令和四年度 収支報告書

ここに前年度の決算書を公開します。おかげさまで今回も最高の結果となりました。ご支援をいただきました皆様方に心から御礼を申し上げます。サイバーエージェントの藤田晋氏には「人事制度はどんどん試して、どんどん捨てる」という教えがあるそうです。私が15年間 寺院経営をしてきて言えることは結局は人がすべてだったということです。これまでに一度だけ減収減益の赤字決算がありました。それを除くとすべて増収増益 過去最高です。その時の反省として人員の整理のための決断ができなかったことです。少し悔やまれますがよい教訓となっています。どんな時でも経営だけは仏の慈悲だけでできるものではありません。日本電産の永守さんは去るものを決して追ってはいけません。辞める人は即辞めてもらった方がよいと自信をもって言っておりましたが私も同感です。経営の要諦は早期の入れ替えに尽きます。経営者が挑戦的であることです。そしてダメな人はできるだけ早めに切ることです。ダメな人はダメな人を庇(かば)うため余計におかしくなります。負の連鎖によって全体が浸食されてしまいます。浄化作用によって業績を好転させるためには人事の刷新をおいて他にはありません。新陳代謝は常に必要です。私は人事の刷新のたびに飛躍的结果を出してきました。これは自信をもって言えます。ピンチの時こそチャンスです。今も波に乗るための準備をしております。運がまた巡ってきている予感です。全体が動いてきました。熊谷霊園 見性院墓地は活況を呈しております。また新たな霊園が必要なほど人気です。これからさらに人が押し寄せて来ることは確実の見込みです。読みは当たっています。思惑通りです。最近はやレスキュー隊員の方が来ています。中高年とは思えない働きぶりに日々 圧倒されています。その方は先日 私に言いました。「退職後に雇用していただいたなら徹底して低姿勢で使ってください口答えをしないように常に自分を律していかなかったら修行にはなりません。」と。この心構えができていな

い人が本当に多いです。ほとんどの人は老害人になってしまいます。そんなわがままなのであれば自ら起業すべきと言いたくなるような人が多いです。お荷物になったのは自己責任です。人に使われなくなかったらフリーランスでやってみろと言いたいです。だいたい努力不足 勉強不足が原因です。敗因です。遊びすぎなだけです。人生はすべてなるようになるだけです。そのための整理は不可欠です。今も波動が来ていて連日 当院は好調で人手不足に悩まされています。自らの判断は正しかったと自負しております。建設ラッシュと墓地の不足化 法務依頼も増えてきています。この勢いをキープして駆け上がっていきます。有能なシステムエンジニアが明日から出勤します。ガンガンテコ入れをしてもらいます。課題は山積していますが一つ一つ潰していきます。新たな時代をつくります。檀信徒はアテにしません。アテにできるような人もいません。意固地な年配者はさようならです。今の60代 70代 80代は何もしない世代です。私よりも若い人をできるだけ相手にします。私の場合は若い人に支持者が圧倒的に多いです。自分でやります。やってみせます。イノベーション、イノベーション、改革革新、改革革新。新たなる未来へ出陣です。合掌

令和5年6月26日
見性院住職